

第1学年 体育科学習指導案

令和元年11月27日(水) 第5校時 体育館

1 単元名 体づくり運動(多様な動きをつくる運動遊び)

2 運動の特性

(1) 一般的特性

- 低学年の体づくり運動は、「体ほぐしの運動」及び「多様な動きをつくる運動遊び」で構成される。体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、伸び伸びと体を動かしながら、様々な基本的な体の動きを身に付けることができるようにする運動遊びである。この時期に「体の総合的な動きを身につける」ことを直接のねらいとして行われる。将来の体力向上につなげていくために、各運動領域で扱いにくい様々な体の動きを培う必要性から生まれ、行われる運動である。
- 自己の心と体の状態に気付いたり、みんなで関わり合ったりするとともに、様々な基本的な体の動きを楽しく経験することにより、動きの幅を広げる運動遊びである。

(2) 児童から見た特性

体づくり運動の楽しさや喜びを感じる要因	体づくり運動を遠ざける要因
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な体の動きを楽しく経験できたとき ・長くバランスが保てたり、うまく用具を操作したりできたとき ・手軽な運動遊びのなかで考えた動きを友達に伝えることができたとき ・友達との関わり合いのなかで動きの幅を広げることができたとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・体の動かし方が分からないとき ・なかなかバランスが保てないとき ・用具をうまく操作できないとき ・力負けするとき ・工夫が思いつかないとき ・運動遊びのなかで友達とうまく関われないとき

3 児童の実態(※一部省略)

(1) 運動

【新体力テストの結果 令和元年6月実施 男子 名 女子 名】

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
本学級								
県平均								
比較								

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
本学級								
県平均								
比較								

○・・・県平均(H30)を上回った

▲・・・県平均(H30)を下回った

体力テストの結果によると、本学級の児童の運動能力は高く、ほとんどの項目で平成30年度の県平均を上回っている。女子の立ち幅跳びは、平均を下回ったことから、力強さやタイミングの良さに課題があることが分かった。また、逆上がりの調査をしたところ、約●の児童しかできなかった。9月に実施した「マットを使った運動遊び」の授業では、後転を●割の児童ができるようになった。

(2) 態度

【体育に関するアンケート調査 令和元年9月25日実施】

本学級の児童は体を動かすことに大変意欲的で、休み時間は学級のほとんど全員の児童が外へ出て遊んでおり、遊具やボール遊びを行っている。体育に関するアンケート調査によると、体育の学習が好きだと答えた児童は●% (●人中●人) であった。また、運動やスポーツが好きだと答えた児童は●% (●人中●人) と高かった。運動遊び中に自分本位な行動をとってしまったり、勝敗をなかなか受け入れられなかったりする児童や、友達との関わり方に戸惑ってしまい、話し合いや伝え合いが苦手な児童もいる。しかし、2学期に実施したマット運動遊びや鉄棒遊びでは、励まし合いや補助ができるようになり、協力する雰囲気が徐々に高まってきている。また、きまりを守って安全に行動しようとする意識はあるものの、周りが見えなくなる児童もいるため、落ち着いた行動の声掛けは随時必要である。

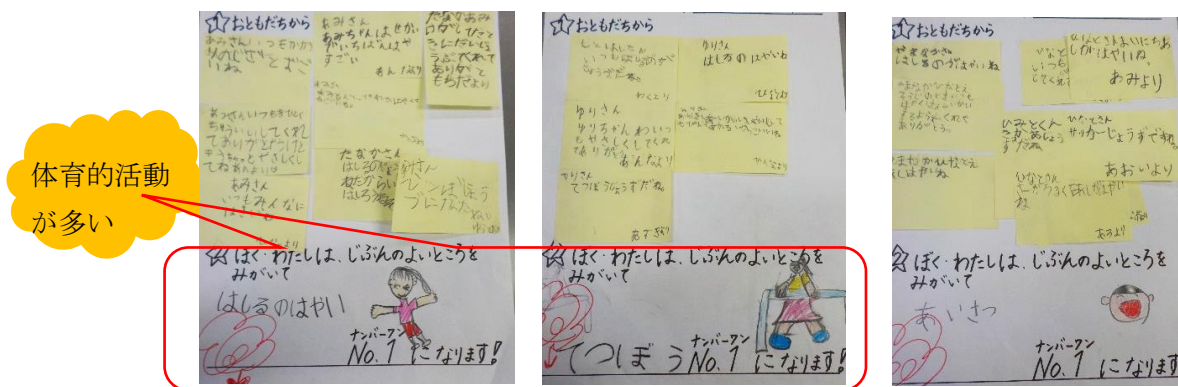
児童の願いとして、右にあげた全項目において、できるようになりたい・がんばりたいと答えた児童が多かった。中でも、「ふらふらしないでバランスがとれる(ピタっととまれる)ようになりたい。」

「じょうずにかいてんができるようになりたい。」

「じきゅうりよく(ながいきよりをはしるちから)をつけたい。」の3項目において●人全員が向上心をもっていることが分かった。

- | | | |
|---|-------------------------------------|----|
| 1 | もっとジャンプできるようになりたい。(たかく・とおくへ・リズムよく) | ●% |
| 2 | ボールをねらったところにつよくなげたい。 | ●% |
| 3 | ボールをじょうずにキャッチできるようになりたい。 | ●% |
| 4 | ふらふらしないでバランスがとれる(ピタっととまれる)ようになりたい。 | ●% |
| 5 | じょうずにかいてんができるようになりたい。 | ●% |
| 6 | うででからだをささえられるようになりたい。(カエルとつりつ・さかだち) | ●% |
| 7 | おもいものをはこべるようになりたい。 | ●% |
| 8 | じきゅうりよく(ながいきよりをはしるちから)をつけたい。 | ●% |

また、道徳の「ぼくのこと・きみのこと」で友達の良いところを伝え合う活動をした。その後、学活で「これからみがいしていきたい自分の良いところ」を宣言する活動を行った。生活のことや学習のことなど、多岐にわたる内容であったが、体育的活動(あしのはやしナンバーワンになります、てつぼうのこうもりふりナンバーワンになりますなど)をあげた児童が●名いた。このことから、体を動かすことへの関心の高さが分かる。



(*その他: あいさつNo.1、やさしさNo.1、はっぴょうNo.1、けいさんNo.1 など)

(3) 思考・判断

1学期の運動会の玉入れでは、ルールに沿った作戦を考えた。また、水泳学習では、自分の泳力に合ったコースを選んだり、2学期に実施したマット運動遊びや鉄棒遊びでは、自分のできるようになりたい技に合わせて場を選択し、練習に励んだりした。

4 教師の指導観

(1) 運動

本単元では、楽しみながら夢中になって体を動かすことで、多様な動きを身に付けさせたい。単元の前半で、まずは、運動の行い方や良い動きを児童と教師と共有しながら学習を進める。あまり経験のない動きに「どうなっているのかな、やってみたい。」という意欲を持たせる。すべての児童が協力しながら運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、ペアやグループでまねっこ遊びやミッションを出題することを通して、自分たちで新しい動きを見つけて遊ぶ活動を取り入れたい。

単元の中盤から「ジャングルアドベンチャー」と題して、毎時間ローテーションで運動遊びを行う。なお、ねらいとする動きをもとに、6つの場を設定する。本学級の児童は、立ち幅跳びに課題が見られたため、跳ぶことに特化した場「とべ！！モンキーランド」を設定することとした。また、学年全体を見ると、上体起こしの記録が低く、カエル倒立ができない児童が多いため、力試しの場「きのぼりマッスルランド」・「くるくるパワーランド」において、肋木を使った腕支持や坂道マットを利用したゆりかごゾーンを設定したり、持久力を高めるための場「アニマルサバイバルランド」でアザラシカードを用意したりすることで、遊びの中から課題の運動内容に多く触れられるようにした。また、「ねらえ！！まとあてランド」や「フラ・ピタっ！バランスランド」では、ボールゲームや跳び箱などの器械運動へのつながりを視野に入れながら、多様な動きをできるだけ多く経験させたい。また、視覚的に目標を意識できるよう、バナナの掲示物を置いて何個分か数えさせたり、意欲を高める状況（さまざまなネーミングや、手のひらにのせると宝（紅白玉）が溶けるなど）を設定したりする。

単元の後半では、互いに動きを取り入れながら、動きの広がりを目指す。そのために、簡単な動きから条件(姿勢・方向・人数・速さ・リズムなど)を変化させ、動きがより広がるように仕組んでいきたい。また、活動の中で友達の動きに目が向くように教師が働きかけることで、互いに認め合いながら活動する楽しさを味わえるよう、支援していく。

(2) 態度

多様な動きを試行錯誤しつつ関わり合うなかで、児童の満足感や達成感が共有できると考える。単元を通して、ペアやグループで動きを見合ったり、励まし合ったりして活動させていく。そして、振り返りの時間に、できるようになったことや友達のよかったところを発表させる。すべての児童が輝けるよう、見合う視点を持たせる。

また、用具等の準備物も多いが、友達と協力して安全に場の設定を行わせる。

(3) 思考・判断

楽しく運動できる行い方を選べるよう、動きの工夫の視点を持たせる。工夫の思考をする時間とそれを見せ合う時間、そして、それを取り入れる時間を設けることで、新しい動きを生み出したり、友達のよい動きを見つけて真似をしたりできるようにする。

5 研究主題との関わり

研究主題

生き生きと学び、主体的に取り組む児童の育成
～一人一人が自己の体力の伸びを実感できる実践を通して～

(1) 目指す児童像

- ①継続的に運動をすることで、自らの運動能力の伸びを実感できる子
- ②自らのよりよい生活習慣を追求できる子

(2) 仮説及びそれにせまるための手立て

仮説1 必要感のある学習展開や場の工夫をすることで、自らの運動能力の伸びを実感できるであろう。

手立て① 「学ぶ必要感のある学習展開の工夫」

- ・ 本単元では、動きの幅を広げながら運動能力の伸びを実感できるよう、単元の中盤以降、毎時間「ジャングルアドベンチャー」（体のバランスをとる運動遊び・体を移動する運動遊び・用具を操作する運動遊び・力試しの運動遊びを組み込んだローテーション活動）に取り組みせる。
- ・ 発達段階における「友達に見せたい。」「自分もやってみたい。」という気持ちを大切に、ペアやグループで関わり合いながら運動に取り組みせる。動きを思考した後に、発表タイムを設け、さらにもう一度やってみる時間をとる。

手立て② 「学ぶ必要感のある場の工夫」

- ・ 朝の業前運動では、8秒間走において、自分の目標に合わせて各自スタートの位置を決めたり、立ち幅跳びにおいて、本単元で使用する教具と同じバナナの掲示を使って記録の目安にしたりすることで、めあてをもたせている。
- ・ 本単元では、多様な動きが発揮されるよう、掲示物や器具を効果的に用い、活動の意欲が高まる場を設定する。（バナナ何個分跳びこえられたか数えられるようにする、ワニのイラストを置いて足をつかないように意識させる、手のひらにのせると宝（紅白玉）が溶ける設定にする、的に木の実のイラストを貼って高く投げる意識を持たせる、コーンの中に隠された動物になりきるといったゲームの要素を入れる、それぞれの場のネーミングを工夫するなど）
ただし、楽しく活動するうちに、自然とねらいとする動きが達成されるような場とする。

仮説2 自らの生活習慣と心身の健康状態をふりかえり、運動することのよさを知ること、自ら進んでよりよい生活習慣を追求できるであろう。

6 単元の目標

- (1) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。 【関心・意欲・態度】
- (2) 体を動かすと気持ちがよいことに気づき、楽しく運動できる行い方を選ぶことができるようになる。 【思考・判断】
- (3) 体のバランスをとったり移動したりするとともに、用具の操作などを行うことができるようになる。 【運動】

7 単元及び学習活動に即した評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組むとともに、順番やきまりを守り、仲よく運動しようとしている。 運動する場の安全に気を付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かすと気持ちがいよいに気付き、楽しく運動できる行い方を選んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体のバランスをとったり移動したりするとともに、用具の操作などをすることができる。
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ① 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ② 運動の順番やきまりを守り、友達と仲よく運動しようとしている。 ③ 運動する場や用具の使い方などの安全に気を付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 多様な動きをつくる運動遊びのよい動きを見付けている。 ② 姿勢・方向・人数・速さ・リズムなど動きを変化させて、いろいろな運動遊びの行い方を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 片足でバランスをとったり、回転したり、ものを乗せながら縄の上を歩いたりできる。 ② いろいろなコースを両足や片足で跳び、空中で向きを変えて着地したり、リズムや方向を変えてはねたりすることができる。 ③ ボールやフラフープを使って、的に当てたり、2人で体にボールをはさんで運んだりできる。 ④ 友達をいろいろな方向に引きずったり、腕で自分の体を支えたり、手や足を支点として回ったりすることができる。

8 単元の計画

(1) 領域（体づくり運動）の取り上げ方

学年	運動
第1学年	体ほぐしの運動 2時間、多様な動きをつくる運動遊び 10時間
第2学年	体ほぐしの運動 3時間、多様な動きをつくる運動遊び 9時間
第3学年	体ほぐしの運動 2時間、多様な動きをつくる運動 4時間
第4学年	体ほぐしの運動 4時間、多様な動きをつくる運動 7時間
第5学年	体ほぐしの運動 3時間、体力を高める運動 5時間
第6学年	体ほぐしの運動 3時間、体力を高める運動 4時間

(2) 運動種目（多様な動きをつくる運動遊び・多様な動きをつくる運動・体力を高める運動）の取り上げ方

学年	目指す動き
第1学年	<p>【バランス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○片足を軸にして、右回り・左回りに回ること。 ○友達と肩を組んだり、背中を合わせたりして、立ったり座ったりすること。 ○しゃがんだ姿勢で相手のバランスをくずしたり、相手にバランスをくずされないようにしたりすること。 <p>【移動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大きな円を右回り・左回りに這ったり、歩いたり、走ったりすること。 ○両足や片足で跳び、空中で向きを変えて足から着地すること。 ○両足または片足で、リズムや方向を変えて跳ねること。 <p>【用具操作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大きさや重さの異なるボールを両手でつかんで、持ち上げたり、回したり、下ろしたりすること。輪を倒れないように回したり、転がしたりすること。 ○友達と背中などでボールをはさんで、色々な方向に運ぶこと。 ○上の投げたボールを両手や片手で捕ること。 <p>【力試し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○すもう遊びで相手を押し出したり、引き合い遊びで引き動かしたりすること。 ○腕立て伏せの姿勢から、自分の体を支え、手や足を支点として回ること。

第2学年	第1学年に記載した内容について、人数を増やしたり、競争したりするなどの工夫をし、動きの幅を広げる。
第3学年	<p>【バランス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○片足を軸にして、回りながら移動すること。 ○友達と両手をつなぎながら、寝転んだり、転がったり、起きたりすること。 ○友達と手をつなぎながら、片足で立ったり座ったりすること。 ○ケンケンしながら、相手のバランスを崩したり、相手にバランスを崩されないようにしたりすること。 ○平均台などの器具をいろいろな姿勢で渡ること。 <p>【移動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物や用具の間を速さや方向を変えて這ったり、歩いたり、走ったりすること。 ○両足で跳び、足じゃんけんをすること。スキップやギャロップをしてはねること。 ○無理のない速さでのかけ足を3～4分程度続けること。 ○ジャングルジムや肋木に姿勢を変えながら登ったり、降りたりすること。 <p>【用具操作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大きさや重さの異なるボールなどの用具を片手でつかんで、持ち上げたり、回したり、下ろしたりすること。 ○倒れないように輪を転がしたり、くぐり抜けたりすること。短なわで前や後ろの連続片足跳びや交差跳びをすること。長縄で連続回旋跳びをすること。 ○両膝や両足首にボールをはさんで運ぶこと。 ○相手に向かって輪を投げたり、投げられた輪を捕ったりすること。 <p>【力試し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○押し合いずもうで、重心を低くして相手を押したり、相手から押されないように踏ん張ったりすること。重心を低くして、相手を引っ張ること。人数を変えて綱引きをすること。 ○友達をおんぶし、安定させながら運ぶこと。手押し車など、両腕で自分の体重を支えながら移動すること。
第4学年	<p>第3学年に記載した内容について、組み合わせる運動に重点を置き、滑らかで合理的な動作をする。</p> <p>【基本的な動きを組み合わせる運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物を持ったり、かついだりして、バランスをとりながら、歩いたり走ったりすること。 ○短なわで跳びながら、歩いたり走ったりすること。輪を回しながら、歩いたり走ったりすること。投げ上げたボールを落とさないように、いろいろな方向に歩いたり走ったり回ったりしてから捕ること。
第5学年	<p>【力強い動きを高める運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○登り棒や雲梯などを使ってぶら下がったり、登ったり下りたりすること。 ○いろいろな姿勢での腕立て伏臥腕屈伸をすること。 ○押し、寄りをういて相撲をすること。 ○二、三人組で持ち上げる、運ぶなどの運動をすること。 <p>【動きを持続する能力を高める運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○短なわ、長なわを使って全身運動を続けること。 ○無理のない速さで5～6分程度の持久走をすること。 ○一定のコースに置かれた固定施設、器械、器具、地形などを超えながら移動するなどの運動を続けること。
第6学年	<p>【体の柔らかさを高める運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各部位を大きく広げたり曲げたりする姿勢を維持すること。 ○全身や各部位を振ったり、回したり、ねじったりすること。 <p>【巧みな動きを高める運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○短なわや長なわを使っていろいろな跳び方をすること。 ○投げ上げたボールを姿勢を変えて捕球すること。 ○用具などを狭い間隔に並べたコースをリズムカルに走ること。 ○跳び箱、平均台などの器具で作った段差のあるコースで、物を持ったり姿勢を変えたりして移動すること。

(3) 指導と評価の計画 (8時間扱い) 本時は○印 7 / 8時

時間	1	2	3	4	5	6	⑦	8
ねらい	まねっこして、おもいきりうごいてみよう。	バランスをとったり、ものをつかったりして、いろいろなうごきをしてみよう。	いどうしたり、ちからだめしをしたりして、いろいろなうごきをしてみよう。	チームできょうりよくして、ジャングルアドベンチャーにちょうせんしよう。	うごきをくふうしてやってみよう。 ～とべ! モンキーランド～	うごきをくふうしてやってみよう。 ～ねらえ! まとあてランド～	うごきをくふうしてやってみよう。 ～フラ・ピタッ! バランスランド～	もっとやりたいばをえらんで、くふうしたうごきをはっぴょうしよう。
指導の内容	<ul style="list-style-type: none"> 学習のねらいと進め方について 学習の準備、準備運動の仕方について 試しの運動遊び 	<ul style="list-style-type: none"> 基本の場の作り方 正しい行い方 バランスのととり方 ボールの投げ方 ボールの捕り方 	<ul style="list-style-type: none"> 基本の場の作り方 正しい行い方 跳び方 着地の仕方 力の入れ方 	<ul style="list-style-type: none"> ローテーションの仕方 (5種) 励まし合うこと 勝敗を受け入れること 言葉かけの仕方 	<ul style="list-style-type: none"> 動き (主に跳び方) の工夫の仕方 動きの工夫の紹介 友達の工夫を取り入れてやってみること 	<ul style="list-style-type: none"> 動き (主に投げ方) の工夫の仕方 動きの工夫の紹介 友達の工夫を取り入れてやってみること 	<ul style="list-style-type: none"> 動き (主にバランス体勢) の工夫の仕方 動きの工夫の紹介 友達の工夫を取り入れてやってみること 	<ul style="list-style-type: none"> 場を選ぶこと 発表の仕方 単元を通した振り返り
学習過程	<p>1 集合、整列、あいさつ、健康観察を行う。 2 さくらっ子体操 (準備運動・補強運動) をする。 3 用具や場の準備をする。</p>							
	<p>4 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習のねらい 学習の進め方 学習の約束 準備の仕方 学習カードの使い方 <p>5 教師のまねっこ</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師の真似をして、簡単な動きをやってみる。 <p>6 ペアでまねっこ</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の動きを真似して動く。 	<p>4 学習のねらいを確認する。</p> <p>5 バランスをとる動きを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 背中を押し合って、アップダウン くるっとまわってじゃんけんぼん <p>6 ものを使った動きを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 片足バランス対決 一本橋 など <p>6 力だめしの動きを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2人の背中やお尻にはさんでボール運び フラフープ転がし いろいろな姿勢でボール投げ上げ&キャッチ まとあて など 	<p>4 学習のねらいを確認する。</p> <p>5 移動する動きを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ケンケンパ 動物あるきサーキット たいこでリズムジャンプ ジグザグかけあし ゴム跳び ポーピングジャンプなど <p>6 力だめしの動きを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 手押し相撲 ひっぱり相撲 ワニじゃんけん (勝ちが負けたワニのまわりを一周) 坂道マットで腹筋ゆりかご 友達運び など 	<p>4 学習のねらいを確認する。</p> <p>5 必要な用具を準備する。</p> <p>6 ジャングルアドベンチャーランドに挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> バランスや移動、用具、力試しの場を作り (6種類)、それぞれの場をチーム (4人) で協力して行う。 チームの中でペアを作り、動きを見合うようにする。 	<p>4 学習のねらいを確認する。</p> <p>5 ジャングルアドベンチャーランド (ローテーション運動) を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>フラ、ピタッ! バランスランド</p> <ul style="list-style-type: none"> 片足バランスミッション 一本橋で宝運び </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>くるくるパワーランド</p> <ul style="list-style-type: none"> ワニワニじゃんけん 腹筋ゆりかご+リズム後転 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>アニマルサバイバルランド</p> <ul style="list-style-type: none"> カードの動物あるき+コーン倒し対決 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>とべ! モンキーランド</p> <ul style="list-style-type: none"> めくって〇〇跳び・ゴム跳び 崖からポーピングジャンプ バナナごえジャンプ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>ねらえ!! まとあてランド</p> <ul style="list-style-type: none"> ヤジの実アタック・フルーツ輪くぐり アニマルまとあて </div> <p>6 チームごとに跳び方の工夫を見付ける。</p> <p>6 チームごとに投げ方の工夫を見付ける。</p> <p>6 チームごとにバランスのととり方 (体勢) の工夫を見付ける。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>くふうのポイント ほうごう・はやさ・せい・ものをかえて せーのであわせて・リズムをずらして</p> </div> <p>7 動きの紹介と再チャレンジタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれのグループが考えた工夫を披露し合い、もう一度やってみる。 	<p>4 学習のねらいを確認する。</p> <p>5 選んで遊ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> 6か所の遊びの場から遊びたい場所を選び、ペアで取り組む。 前時までの動きを思い出しながら、さらに動きを工夫する。 <p>6 動きの発表</p> <ul style="list-style-type: none"> 工夫した動きを発表し合う。 <p>7 ほめほめタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達のよい動きを褒め合う。 		
	<p>8 用具の片付けをする。 9 本時の振り返りと学習のまとめをする。 10 次時の内容の確認をする。 11 整理運動、あいさつをする。</p>							
関	①			② ③				②
思					①	②	②	
技		① ③	② ④					①～④
方法	観察	観察	観察	観察・カード	観察・カード	観察・カード	観察・カード	観察・カード
場面	5、6	5、6	5、6	3、5、6、8	6、7	6、7	6、7	5、6、7

9 本時の学習と指導（7／8時）

(1) ねらい

- ・姿勢・方向・人数・速さ・リズムなど条件を変化させて、いろいろな運動の行い方を見付けている。

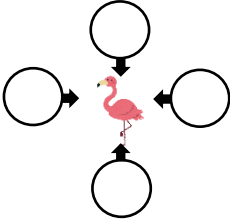
【思考・判断】

(2) 準備

- ・掲示資料 ・ケンステップ ・縄 ・紅白玉 ・ボール ・フラフープ ・的（ダンボール）
- ・マット ・坂道マット ・跳び箱 ・ゴム ・ビブス ・学習カード ・アンプ ・CD
- ・タブレットPC

(3) 展開

段階	学習内容・活動 ★幸手スタンダード授業5	指導上の留意点（○指導 ◆評価規準 □手立て）
導入 8分	1. 集合、整列、挨拶、健康観察をする。 ★ 心のスイッチをONにする。 2. さくらっ子体操を行う。 （準備運動・補強運動） 3. 用具や場の準備を行う。	○チーム毎に素早く集合し、元気よく挨拶をさせる。 ○児童の顔色や様子を確認し、服装を整えさせる。 ○準備運動における正しい動きを行わせ、よい動きができていない児童を称賛する。 ○運動に必要な個所を意識するよう声掛けをしながら、一つひとつの動きを丁寧に行わせる。 ○仲間と協力しながら準備ができるように声掛けを行う。
展開 ① 15分	4. 本時のねらいを確認する。 ★ 意欲を高める『めあて』を示す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> うごきをくふうしてやってみよう。 【フラ・ピタッ！バランスランドへん】 </div> 5. チームごとにジャングルアドベンチャー（ローテーション運動）を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">ステージ</p> </div>	○多様な動きをつくる運動遊びである 4 つの要素（バランス・用具・移動・力試し）を含み、児童が思わず運動したくなるような場を設定する。 ○各種目 2分ずつ（移動準備 30秒を含む）のローテーション運動とする。4人で1つの運動を行い、ペアで動きを見合うように意識させる。 ○順番やきまりを守って安全に運動させる。 ○腕支持では、肘をしっかり伸ばし、目線を上げるよう助言する。 ○動物歩きは、一つひとつの動物らしさ（熊は腰の高さ、うさぎは着手と着地の位置、アザラシは腕を伸ばして手のひらをつくこと）を意識させる。 ○前時までに発見した動きのポイントを意識させ、よい動きができていない児童を称賛する。特に、投げ方や跳び方の工夫（空中ポージングや跳ぶりズムなど）を実践できている児童を取り上げて紹介する。

<p>展開 ② 15分</p>	<p>6. 片足バランスを、チームごとに工夫して運動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床タッチ →高速で。 / ゆっくりと。 ・その場ジャンプ ・ジャンプで半回転 ・くるくる1回転 ・逆回転 ・ハイキック ・手つなぎゆらゆら ・隣の人のケンステップへジャンプ →円の間隔をひろげて。 ・リズムよくずらしてジャンプ ・片足スクワット  <p>★自分で考え、共に深め合う時間を確保する。</p>	<p>□動きの幅を広げながら運動能力の伸びを実感できるようにするために、第4時以降毎時「ジャングルアドベンチャー」に取り組む時間を設ける。</p> <p>□多様な動きが発揮されるよう、掲示物や教具を効果的に使い、視覚的に意欲が高まる場を設定する。</p> <p>○いくつかの動きを示した掲示物を用意し、選んで動けるようにする。</p> <p>○いくつかの動きをつなげたり、オリジナルミッションを考えたりすることを促すことで、動きの幅を広げられるようにする。</p> <p>○考えた動きを実際に試しながら、動きの良さを確認させる。</p> <p>○よい動きに対して称賛し、価値づけを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆姿勢・方向・人数・速さ・リズムなど動きを変化させて、いろいろな運動の仕方を見付けている。 (観察・カード)【思考・判断】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>△努力を要すると判断される状況(C)の児童への指導の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動きの種類をしばって(①床タッチ②その場ジャンプ③ジャンプしながら回転から)選ばせたり、具体的に助言したりする。 <p>◎十分満足できると判断される状況(A)の児童の具体的な姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい動きをいくつも生み出し、考えた動きを実際に試しながら友達に伝えている。 </div> <p>○良いと思った動きを取り入れて、できることを増やしたり、より大きく動いたりするよう、促す。</p> <p>□動きの紹介タイムで、他のグループの工夫を見ることで思考を刺激し、その後の再チャレンジタイムでさらに良い動きができるようにする。</p>
-------------------------	---	---

	<p>★活動の過程でめあての達成度を確認する。</p> <p>7. 動きの紹介をし合い、さらに、再チャレンジタイムで自分たちの動きの幅を広げる。</p>	
整理 7分	<p>8. 片付けをする。</p> <p>9. 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの発表 ・学習のまとめ ・次時の予告 <p>★学習のまとめを行い授業の振り返りを行う。</p> <p>10. 整理運動、挨拶をする。</p>	<p>○友だちと協力しながら行えるよう、助言する。</p> <p>○本時のねらいに沿って振り返り、できてうれしかったことや友達の良かった動きを発表させる。</p> <p>○次時は、自分で場を選んで運動を行い、発表会をすることを伝え、意欲付けを行う。</p> <p>○よく動かした箇所を丁寧にほぐすように助言する。</p> <p>○元気よく挨拶させる。</p>

いろいろなうごきつくりあそび

1ねん くみ

ばん ()

やってみよう！いろいろなうごき！！

ちからためし

フニフニがけ！
ひばりすも！

つまできは
あなひつろ！

しげい
あつ！

バランス

せーのて
アップ
ダウン

ゆりこ
してゆき

じやんぱん
あし！

ものをつかっ

ポーン

フラスク

いどうして

ジャンプ！

ジャンプの
けいし

JUNGLE ADVENTURE

ジャングルアドベンチャー

① フラ・ピタッ！
バランスランド

② アニマル
ザンバルランド

③ とべ！！
モンキーランド

④ くるくる
パワーランド

⑤ きりぎり
マッスルランド

⑥ ねらえ！
まはあてランド

あたらしいうごきをうみだすべし！
あそびをパワーアップすべし！

- ★しせいをかえて
- ★ほうこうをかえて
- ★はやさをかえて
- ★00をえらんで
- ★あわせてせーのっ
- ★リス△にのって

1	2	3	4	5	6	7	8
オリエン テーション	しゅうごう・せいれつ・あいさつ・けんこうかんさつ・じゅんびうんどう						
○めあて ○やくそく ○やりかた	やってみよう いろいろなうごき！ ① ☆バランス ★ものを つかって	② ☆いどう ★ちから だめし	ジャングルアドベンチャー でおもいきりからだをうごかさう ◎チームで きょうりよ くして ちょうせん しよう！	↓ うごきをくふうしてやってみよう ◎とびかた をくふう しよう	↓ ◎なげかた をくふう しよう	↓ ◎バランス のとりか たをくふ うしよう	↓ ◎えらんで あそぼう ーはっぴよ うかい
かたづけ・まとめ・ふりかえり・つぎのじかんについて・あいさつ							

ふりかえり ◎・○・△							
ちからいっぱい たのしくうんどうできた							
めあてをいしきしてできた							
やくそくやきまりをまもって あんぜんにできた							
ともだちとはげましながら なかよくできた							

【できることがふえた ○・○・△】
 (わい) まえよりも、おおきくうごけた！ くふうしてとべた！
 あたらしいうごきに、ちょうせんできた！
 ○○さんのやりかたをまねしてやったら、じょうずできた！ など

かんそう

おたから
ゲットだせ！！